

問 2025年を見据えて、高齢者が安心して暮らせる地域社会をつくり上げていくことが重要な課題となっている。高齢者が地域でボランティア活動に従事することで、高齢者の社会参加や地域貢献を促すとともに、高齢者自身の介護予防につながる取り組みと



萩原剛志 議員

高齢者のボランティアポイント制度の推進について

答 保険福祉部長 介護予防事業の一環である地域支援事業の任意事業として、ボランティアポイント制度の実施も可能ですが、ニーズを勘案しながら、事業の実施に

して「高齢者の介護支援ボランティア」がある。65歳以上の高齢者が、地域のサロン・食会・外出の補助・介護施設等でのボランティア活動をを行った場合に、自治体からポイントを付与するもので、たまったポイントに応じて、商品との交換や換金のほか、介護保険料の支払いに充て、保険料の軽減に利用できる。市としても、地域包括ケアシステムの構築を推進しているところだが、その際に要介護者をサポートするボランティアが重要となる。桜川市としても高齢者のボランティアポイント制度を導入してはどうか。

答 「ESCO事業」は、事業者の利益率と顧客のメリットの両方が高くなければなりません。市の防犯灯に関しては、本数が少なく、費用対効果が上がらないことから成り立たないと思っております。新たな施策として、LED器具を市で一括購入し、工事費については、地区管理のものは地区負担でLED化を進めていくことを検討しています。

問 「ESCO事業」を活用して市内の防犯灯のLED化に取り組んではどうか。民間資金を活用し、省エネ化で浮いた光熱費等で工事費や維持管理費を賄う仕組みで、初期費用を抑えるメリットがある。

感謝状の贈呈

茨城県市議会議長会
林悦子（前議長）

茨城県市議会議長会から、地方自治の発展と市政の向上に尽力された功績により、感謝状が贈られました。

市のホームページから市議会の会議録が見られます

<http://www.city.sakuragawa.lg.jp>

年4回（3・6・9・12月）の定例会や臨時会の会議録は、開催月の3カ月後にホームページにアップされます。



①「桜川市議会」をクリック
②「会議録」をクリック→会議録画面が見られます

みんなの声を市政に一般質問

3人の議員が一般質問を行いました

門毛の採石跡地への残土搬入はいつまで続くのか



菊池伸浩 議員

問 門毛の石塚建材興業の採石跡地の残土搬入が続いている。来年10月に契約更新の時期を迎える。市民の間には、これ以上残土の搬入は望ましくないとの声も出ている。今、3つの問題を抱えている。1つは、土地賃借料未納の問題。2つは、災害防止策の不備の問題。3つは、残土搬入をどこまで続けさせるかという問題である。県は、原状回復というのを建前に、残土搬入を続けさせる方針で、既に採掘で

答 経済部長 石塚建材興業の採石は、平成17年9月に県から「災害防止措置命令」が出され、事業者によって災害防止工事が進められています。市



門毛の石塚建材興業採石跡地

きた大きな穴は埋め戻されている。ただ残土搬入を続け、重機でならすだけで、盛土工事、災害防止工事と言えるのか。私は大きな疑問を持っている。今の計画では、平成33年までに残土搬入が続くことになる。この残土搬入に、どのような意見書をつける考えなのか。

現状では、資金不足やイノシシによる被害等があり当初計画よりも遅れています。このまま計画に沿って工事が行われるべきという考えでいます。

担当者も、毎年開かれる災害防止工事説明会に出席し、状況の確認をしています。市としては、安全確保・災害防止の観点から、災害防止工事が途中で終わってしまうことは望ましくないと考えています。

病院建設について



榎戸和也 議員

問 現在、市長は第2次再生計画による東西病院再建を模索しているようであるが、昨年3月に我々議会が決議したのは第1次計画による2病院建設であったはず。議会に報告なく枠組みを変えるのはおかしくないか。

答 市長 国は、今の形での再建ではお金を出せないと言っています。お金が使え、公設民営化の方向で病院が残せるよう、努力しています。方向づけができれば議会に報告したい。

問 「山桜」による市の活性化については。経済部長 県でも、県の観光の目玉として「山桜」をPRしてくれますという話が出ています。市としても、来訪者のための駐車場確保などを検討しています。

問 2次再生計画による東西病院再建を模索しているようであるが、昨年3月に我々議会が決議したのは第1次計画による2病院建設であったはず。議会に報告なく枠組みを変えるのはおかしくないか。

答 市長 おかしいと言われても榎戸議員に総務省に行って直接かけ合っていた方がいいのか。

問 起債なしでの建設は無理なので、第2次計画による協議に戻りました。我々が覚悟をもって再建しようとしているのに、理由も示さず、起債を認めないと言っているのはおかしくないか。

答 市長 おかしいと言われても榎戸議員に総務省に行って直接かけ合っていた方がいいのか。

問 起債なしでの建設は無理なので、第2次計画による協議に戻りました。我々が覚悟をもって再建しようとしているのに、理由も示さず、起債を認めないと言っているのはおかしくないか。

問 鳥獣害対策協議会は機能しているか。また被害状況の把握は。経済部長 被害を知る区長を加え、協議会を機能させたい。被害調査も実施します。

問 イノシシ問題 通年捕獲を可能とするつもりはないか。経済部長 捕獲者の負担もあり、期限を決めた有害捕獲を継続したい。